

2023年8月吉日
米国研究製薬工業協会 (PhRMA)
日本代表 ハンス・クレム
患者アドボカシー委員会 中村幸恵

PhRMA 患者アドボカシー実践セミナーのご案内
～患者さんの声を届けよう！プログラム（全5回）～
第1回「なぜ今患者さんの声が必要なのか」

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は米国研究製薬工業協会（PhRMA）の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協会では、製薬業界と患者団体の関係構築・協働を通じ、革新的な医薬品への患者さんのアクセス確保をはじめとする共通課題を解決することを目指した活動を行っております。その一環として、患者団体のみならず、政策提言活動をはじめとする患者さんの声を様々な関係者に届ける活動（患者アドボカシー活動 ※参照）を展開する上で、参考にして頂けるようなプログラムを提供しております。

昨年5月には、アドボカシー活動のご経験のある3名の患者団体代表者を講師に迎え「アドボカシー事例共有セミナー」を、10月には、相手を動かすために必要な“伝わる伝え方”をテーマとした「スキルアップセミナー」を開催いたしました。そしてこの度、「患者さんの声を届けよう！プログラム」と題し、いま日本が直面している課題に対して、問題の背景を知り、患者団体の政策議論への関与について考えを深める場として、全5回のセミナーを企画する運びとなりました。

2023年6月9日に公表された「厚生労働省の医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会の報告書」において、患者団体からの意見として、「ドラッグ・ロスの問題に関し、各関係者がばらばらに対応している印象を抱いている。国内の治験実施数を倍増させるには患者の協力をどうするのかなど、患者側も含めて関係者全員で考える場を速やかにつくる必要がある。」という内容が記載されました^{※1}。海外で承認されている薬が日本の患者さんに届かない状況（ドラッグ・ラグ／ドラッグ・ロスの再燃）には、厚生労働省や医薬品業界も危機感を抱いています。

^{※1} 政府が策定した「骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針）2023」p38にも記載されました。

第1回は、医療を取り巻く環境、医療政策、患者アドボカシーの必要性について、先般の有識者会議での議論を踏まえ、専門家のご意見をお聞きして、理解を深めたいと思います。皆様の疑問や課題意識をざっくばらんに意見交換する機会としてもご活用いただけますと幸いです。

開催概要や講師、お申込み方法についての詳細は、次頁以降をご参照ください。

なお、本プログラムを円滑に進行するため、会場参加のみならずには患者団体名と氏名を記載した名札をつけていただき、当日、ご参加の皆様へ、所属団体名ならびに氏名を記載した参加者リストを配布させていただきます。予めご了承の程よろしくお願い申し上げます。

ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

※ PhRMA では患者団体が医療政策者をはじめとする様々なステークホルダーに対して、患者さんの立場に立って問題解決に声をあげていく活動を「患者アドボカシー活動」としています。

《患者アドボカシー実践セミナー開催概要》

◆第1回「なぜ今患者さんの声が大切なのか」

開催日時：9月6日（水）16時00分～17時30分（会場受付開始：15時30分）

開催形式：会場とオンライン（Zoom ウェビナー）

会場：TKP 東京駅カンファレンスセンター ホール11A

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル11階

JR 山手線/総武線/横須賀線 東京駅 八重洲中央口 徒歩1分

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyoeki-central/access/>

※オンライン参加をご希望の方にはお申込み後、開催日の前日までに当日のオンライン参加情報（URL・参加方法）をお送りいたします。

※Zoom ウェビナーでご参加頂く場合、お顔は見えない形式になります。なお質疑応答の際には、質問される方のカメラを主催者側でオンとさせていただきます。

プログラム（全5回シリーズ）

第1回	
テーマ	「なぜ今患者さんの声が大切なのか」
日時	2023年9月6日（水）16時00分～17時30分（会場受付開始：15時30分）
講師 講演内容	「薬を取り巻く外部環境、政策的背景」 講師調整中（新時代戦略研究所） 「日本の政策決定プロセスについて」 早稲田大学理工学術院 教授/医療法人社団 DEN 理事長 宮田 俊男先生 「患者団体のアドボカシーの必要性について」 NPO 法人パンキャンジャパン理事長 眞島 喜幸氏 一般社団法人日本難病・疾病団体協議会（JPA）常務理事 辻 邦夫氏 ※なおセミナー終了後、会場参加者の方々のための交流の場を設ける予定です。
第2回	
テーマ	（仮）医療や医薬品に関する政策はどのようなプロセスで決定されるのか 予算の在り方、政策決定・法改正のプロセスなど
第3回	
テーマ	（仮）行政（省庁）から見た患者団体 政策決定プロセスに省庁の方々がどのような役割を果たしているのか。審議会運営、 患者団体の役割について。
第4回	
テーマ	（仮）国会議員から見た患者団体 部会や委員会、議連の在り方。陳情書や請願について。
第5回	
テーマ	（仮）模擬体験、まとめ

※なお、第2回目以降のテーマや開催形式については、第1回参加者の方のご意見をもとに検討して参ります。

PhRMA 患者アドボカシー実践セミナー 第1回「なぜ今患者さんの声が大切なのか」

参加お申込み方法

お申込みは、下記リンクのお申込みフォームにアクセスして頂き、必要情報をご入力ください。
※オンライン参加をご希望の方にはお申込み後、開催日の前日までに当日のオンライン参加情報（URL・参加方法）をお送りいたします。（プログラム全5回全てのご参加はもちろん、1回のみのご参加も可能です）

◆ お申込み URL: <https://forms.gle/h6bEZsvV86iWmHW57>

◆ お申込み期限: 8月31日(木) 正午迄



【注意事項】

- ※ ご登録の際には、ご参加者様の漢字フルネームをご入力ください。
- ※ 複数のデバイス（パソコン・スマートフォン）での視聴はできませんので、視聴者お一人様につき1アカウントのお申し込みをお願いいたします。
- ※ 視聴環境（パソコンの機種等）がそれぞれ異なるため、技術的なお問い合わせについては対応いたしかねます。通信環境が良い場所からの接続をお勧めいたします。
- ※ セミナーは無料ですが、会場までの交通費/オンライン参加の通信料はご参加者様のご負担となりますので、ご了承ください。
- ※ オンラインセミナーは視聴に限り、録画・スクリーンショットまたはその他への利用については固くお断りいたします。そのようなケースを確認した場合、今後の配信を断念せざるを得なくなる可能性もございますので、ご理解・ご協力のほどお願いいたします。
- ※ 今回は講師のデータ保護のため、資料の配布はございません。ご了承くださいますようお願いいたします。
- ※ 記録用にセミナーは録画させていただきます。
- ※ 当日ご都合がつかない方のために、後日動画配信を予定しておりますので、準備が出来次第ご案内いたします。

その他、事前登録においてご不明な点がございましたら、米国研究製薬協会（PhRMA）患者アドボカシー委員会事務局までお問い合わせください。

本件に関するお問い合わせ先

米国研究製薬工業協会（PhRMA）患者アドボカシー委員会事務局
株式会社ジャパン・カウンセラーズ 星・青木・岡野・高山

E-mail: phrma@jc-inc.co.jp / FAX: 03-3291-0223

※新型コロナウイルス感染症対策によりスタッフが不在の場合がございます。
お問合せはメールにて頂きますと幸いです。